「第３次千葉市学校教育推進計画（案）」及び「第６次千葉市生涯学習推進計画（案）」に対する意見の概要と市の考え方

資料５

■序章

No.	ページ	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
1		はじめに	「千葉市で学んでよかった」「千葉市で学ばせてよかった」という文言が、日本の地方自治体の教育委員会の発言としては適切ではない。子ども教育に対して、地方自治体間で優越感を持っても仕方のない。同じ千葉県、同じ日本国であり、教育は機会均等が重要。	教育基本法第１７条に基づき、「千葉市で学んでよかった」「千葉市で学ばせてよかった」と思える教育を目指して、本市の教育事業を運営していきたいという主旨です。	－
2	P2	序章　全体	１ページまたは一項目の中で２以上の異なる元号を使用する場合は、元号（和暦）と西暦を併記すると経年が簡単に計算できる。	ご意見を踏まえ、P2は西暦を併記しました。 また、「各論の見方」（P38,P138)に和暦と西暦の対応表を追加します。	○

■第１章　第３次千葉市学校教育推進計画

No.	ページ	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
3	P8	総論 １現状と課題 １全体の評価について	成果指標において、○、×、－があり、○、×が内を意味するかの説明はありますが、“－”の説明がない。	ご意見を踏まえ、以下の記述を追加します。 P8　総論 １現状と課題 １全体の評価について <u>－…達成率で評価しない（できない）もの</u>	○
4	P8	総論 １現状と課題 ２各成果指標の状況について	個別の成果指標に対するコメントが、No.18, No.8,No.6・・・と順不同で掲載されている。そして「一方、各成果指標を個別に見ていくと・・・」としか記載されておらず、何故順不同なのかの理由の説明が必要。	第2次千葉市学校教育推進計画の成果指標№を記載しており、順番は、第3次千葉市学校教育推進計画の施策方針の順番に沿って並べていますので、原文のままとします。	－
5	P8	総論 １現状と課題 ２各成果指標の状況について	「学校の勉強が好きだと思う児童生徒の割合（No.1）」と「学校の勉強がよくわかる児童生徒の割合（No.18）」は相関性が高いと思っている。小３、小５、中２のNo.1の割合は、それぞれ80%台、70%台、50%台ですが、No.18の割合は、90%台、80%台、70%台となっており、「よくわかる」イコール「好き」の図式が崩れている。特に、中２の場合、顕著になっている。どんな要因が考えられるか？高校受験との関係から学習塾（難）と学校の授業（容易）の相対か？。	様々な要因が考えられますが、子どもたちを取り巻く環境を踏まえつつ、子どもたちの意識の把握に努めてまいります。	－
6	P8	総論 １現状と課題 ２各成果指標の状況について	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合で、Ｒ３末の中２の値が低いのは気がかりだが、H28末、H29末の結果から見ても「『夢と思いやりの心を持つ』という本市の目指すべき子どもの姿を実現・・・」にまで言及する数値ではないと思う。なお「夢と思いやりの心を持つ」は本計画書のはじめにあるように、「『夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子ども』という千葉市学校教育の目指すべき子どもの姿を実現・・」とフルで明示していただきたい。	ご意見を参考に、以下のとおり修正します。 P8 総論 １現状と課題 ２各成果指標の状況について 「夢と思いやりの心を持つ」という点を実現するためには	○

No.	ページ	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
7	P9	総論 １現状と課題 ２各成果指標の状況について	体力や運動習慣、朝食喫食率等（No.１１～１４）において、「健やかな体の育成に関する指標については、全国平均や県平均と比較して総じて良好な状況です」と記載されている。P16のNo.13の表を見ると、R3末の実績が目標を上回っているのは中女子だけで、特に小男子は低い値だ。全国平均や県平均よりも高い値だが、目標を忘れてはいけない。	児童生徒の体力・運動能力については、全国平均や県平均を上回る項目が多くありましたが、コロナ禍以前に設定した目標値との比較では、下回る項目もありました。「第３次千葉市学校教育推進計画」においても引き続き目標の達成を目指した取組を進めてまいります。	－
8	P25	総論 ２保護者や教職員の意識について １意識調査概要	調査対象が普通と養護の小学５年生、中学２年生、高等学校の保護者と教職者となっており、子どもの年齢の差異、保護者と教職員という立場の違いがある。しかしP26以降の調査結果は対象者すべてに対しての結果を掲載している。きちんと考察するには、普通と養護の違い、年齢の差異、保護者と教職員別に分ける必要があると思う。	今回のアンケート調査については、全体的な傾向を捉えるために分けずに記載していますので、原文のままとします。	－
9	P26	総論 ２保護者や教職員の意識について ２意識調査結果　（１）	【考察】において、「肯定的な回答」及び「否定的な回答」という文言が使われていますが、「設問に対して肯定的な回答」及び「設問に対して否定的な回答」が適切。	ご意見を参考に、以下のとおり記述を追加します。 P26 2意識調査結果 （１）最近の子供の印象 【考察】 ・肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）の上位には、 ・否定的な回答（「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」）の上位には、	○
10	P30	総論 ３ 第３次千葉市学校教育推進計画策定について １（１）第２次千葉市学校教育推進計画の課題への対応	108のアクションプランが順調で54のそれは成果指標に達成していないという記述は、本計画書で初めてです。Ｐ8の現状と課題で記載すべき。	ご意見を参考に、以下のとおり記述を追加します。 P8　１現状と課題 　１全体の評価について（令和3年度） 108のアクションプランの進捗状況は「順調」の項目が多い一方で、54の成果指標の達成状況（※評価項目は26）は「○」の項目が少なく、実施している取組が成果として現れていない傾向が見られます。	○
11	P30	総論 ３　第３次千葉市学校教育推進計画策定について １（２）	第３次千葉市学校教育推進計画は第2次を継承しとしておきながら、目指すべき子どもの姿を「チャレンジする子ども」から「未来を拓く子ども」に変更しており、その変更の理由を千葉市基本計画による修正としか記載がない。またP5の第１章のタイトルは、「夢にチャレンジ　未来を拓け！」となっており、教職員及び児童生徒は混乱する。明確な説明が必要である。	千葉市基本計画を踏まえ、P31・32「２　第３次千葉市学校教育推進計画が目指す学校教育の姿」にある通り、予測困難な時代にあって、本市に育つ全ての子どもが、自分の良さや可能性を認識し伸ばすとともに、一人一人が夢を持ち、多様な人々と協働しながら様々な困難をたくましく乗り越え、豊かな人生を切り拓いていくことができるよう願いを込め、「未来を拓く子ども」としております。	－
12	P34	総論 ４　第３次千葉市学校教育推進計画の全体像	全体像としながら、囲みの文章にヴィジョンである【目指すべき子どもの姿】の記載ないので、追記すべき。	【目指すべき子どもの姿】については、図で示しており、囲みの文章は簡素化しわかりやすくしていますので、原文のままとします。	－
13	P36	総論 ４　第３次千葉市学校教育推進計画の全体像	P36のリーフレット（？）又はチラシは何に使用するのか？位置づけを教えてほしい。計画のキャッチフレーズまで掲載されている。第２次から第３次への移行によって修正された目指すべき子どもの姿の「チャレンジ」が残っている。 また、P32の各施策の留意事項である「人間尊重」は大きく書かれているが、その他の「人権尊重」などはない。	P36の図については市民や学校現場への周知に活用予定です。 また、本市の教育施策は、「人間尊重の教育」を基調としているため中心に記載しています。その他の重要となる考え方にもP32,33のとおり留意して事業運営をしていきます。	－

No.	ページ	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
14	P38	各論　各論の見方	囲みで「アクションプランにおける各年度の数値は目標数値であり、今後の社会情勢等の状況により変更することもあり、確定したものではありません」と記載されている。この文章を計画書に記載されてしまうと、計画書の目標値の信頼性がなくなる。当然、中間目標令和９年度の数値も確定していないわけなので、アクションプランそのものも怪しいものとなる。「今後の社会情勢に大きな変化があった場合、年度途中であってもアクションプラン、目標値を変更し、公表いたします」程度としてはどうか。	囲みの記載については、今後の社会情勢の変化等により目標どおりに事業を実施できない可能性があることを表記したものであるため、原文のままといたします。	－
15	P111 ～ P115	参考資料 ２　用語解説	用語の末尾に掲載ページ数を示すという形になっています。用語を見てからページ数を探すという人はいないと思います。本文の用語の右肩に＊などの記号を付けて用語解説を参照してもらう方式の方がよいと思います。	ご意見を踏まえ修正しました。	○
16			参考資料（106P）によれば、小学校数は2010年（120校）をピークとして2022年108校、中学校は2012年（57校）から2022年（55校）に減っている。児童生徒数が減ったためと思われる。 しかし、これ以上の統廃合による学校数の削減はしないでほしい。 一学級の生徒数を35人　40人にこだわらずに　30人　20人にしてもよいのではないか。優しい先生が　マンツーマンに近い授業をすれば、子どもの授業内容への理解も進むし、不登校やいじめもなくなるのではないか。 これから児童生徒の数は増えないので、学校のあり方も変えていきたいと思う。	ご意見は参考にしてまいります。	－
17			ハンディキャップのある子どもも普通学級でともに学べるように、多機能トイレ、エレベーター、スロープなどの設備を設置してほしい。	ご意見の趣旨は、施策方針５－４(P86)に記載しております。	－
18			教職員数を減らさないでふやしてほしい。非正規職員を正規職員にしてほしい。（図書室の先生は掛け持ちでなく１校に一人　正規職員として配置をしてほしい。十分な読書指導ができるようになるのではないか。	ご意見は参考にしてまいります。	－
19			最近は職員会議もない学校があるときくがまず教職員が自由でのびやかでなければ、児童生徒に優しく接することはできないと考える。先生同士の学び合いも大切。学校が自由で楽しいところになってほしい。	ご意見は参考にしてまいります。	－
20			スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーの配置は賛成。	引き続き取組を推進してまいります。	－
21			夜間中学校が出来たのは大変良い。民間の夜間中学校も必要。母国語が日本語ではない人たちが今後ますます増えると思われる。	ご意見は参考にしてまいります。	－

■第２章　第６次千葉市生涯学習推進計画

No.	ページ	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
1	P121	総論 ２　現状と課題 １　全体の評価について	成果指標には、○、×、－の三種類が示されているが、「－」の説明がない。	「－」は不要な記載のため削除いたします。	○
2	P121	総論 ２　現状と課題 ２　各成果指標の状況について	各成果指標に対して、目標値と実績がWEBアンケートの割合で示されているが、それぞれのサンプル数も併記していただきたい。目標値と実績のサンプル数に大きな差があれば、割合の数値の持つ意味が異なる。	設定された目標にサンプル数は存在しませんが、目標設定の基礎となった調査及び実績の調査のサンプル数は、ともに約１，０００件となっております。	－
3	P122	総論 ２　現状と課題 ２　各成果指標の状況について 成果指標６	公民館の講座の参加者の満足度について、先ずは、参加者数の目標、実績を示し、次に参加者の満足度の目標、実績を示す方がよいと思う。例えば、参加者数が目標値に対して大幅に上回っていたとすれば、満足度の実績98%は素晴らしい結果と言える。	第６次千葉市生涯学習推進計画において、満足度は成果指標としておりませんが、今後の参考とさせていただきます。	－
4	P123	総論 ２　現状と課題 ２　各成果指標の状況について 成果指標１０	「公民館運営審議会や公民館運営懇談会などで議論された地域課題の講座への反映などに努めた。」とのことであるが、更に公民館運営審議会や公民館運営懇談会の議論の活性化、地域課題の解決に取り組んでいけるよう支援を望む。	公民館運営審議会や公民館運営懇談会の活性化等は重要なことと考えておりますので、引き続き取組を推進してまいります。	－
5	P125	総論 ３　生涯学習に関する市民の意識について ２　意識調査結果 （１）生涯学習の意識に関する調査結果 【考察】	「生涯学習活動を個人の成長と捉える市民が多くなっています」と記載されている。「多くなっています」は比較対象があっての記述である。前回の調査結果を示すか、「生涯学習活動を何かに役立つとするよりも個人の成長と捉える市民が多い傾向となっています」が適切と思う。	ご意見を踏まえ「生涯学習活動を地域活動等に役立つと考えるよりも、個人の成長と捉える市民が多い傾向となっています」に修正いたします。	○
6	P127	総論 ３　生涯学習に関する市民の意識について ２　意識調査結果 （２）施策展開の方向性１　学習活動のきっかけの提供に関する調査結果 【概要】	「５年前と比べた利用のしやすさ・・・43%となっています」と記載されている。これは関係団体調査結果だが、「利用しやすくなったと感じるのはどんなところですか」という設問はなかったのか。【考察】において「５年前と比べて施設が利用しやすくなったと感じる・・・既存の施設・設備の充実が求められている・・・」と記載されているが、前半は関係団体調査結果、後半は市民意識調査結果から導き出している。一つの課題に対して、異なる調査結果から結論を導き出すのは事実と異なる恐れがある。	今回の関係団体調査では「利用しやすくなった点」に関する設問は、設定していませんでしたので、今後の参考とさせていただきます。 関係団体調査における結果、及び市民意識調査における結果のそれぞれを受けて、引き続き学習環境の整備に努める必要があると考察いたしました。	－
7	P132	総論 ４　第６次千葉市生涯学習推進計画策定について １　第６次千葉市生涯学習推進計画策定の基本方針 （１）第５次千葉市生涯学習推進計画の課題への対応 ア　計画の進行管理に係る課題	各施策は順調に進んでいるものの、成果指標の達成につながっていない理由として「生涯学習の理念が広く浸透しておらず、本市が目指すべき姿が共有されていません」と記載されている。先ず、生涯学習の理念とは、P120にある教育基本法第３条だと思うが、理念としては長すぎて浸透しないと思う。例えば、［自己の人格を磨き、豊かな人生を送る］が適切な長さである。次に、「本市が目指すべき姿」とは何かが不明である。P121に記載されている［一人ひとりが　学びを通して地域がつながるまち　千葉市］なのか。	理念については、ある程度具体的な表現をすることによって理解が深まると考えているため、原文のままといたします。 本市が目指すべき姿につきましては、お見込みのとおりです。	－

No.	ページ	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
8	P132	総論 ４　第６次千葉市生涯学習推進計画策定について １　第６次千葉市生涯学習推進計画策定の基本方針 （１）第５次千葉市生涯学習推進計画の課題への対応 ア　計画の進行管理に係る課題	課題を解消するために、「（ア）本市の生涯学習が目指すべきものを見据えた上で、その実現のための計画とします。（イ）現場の施設や利用団体。利用者、地域への周知に力を入れます」と記載されている。先ず、（ア）に本市の生涯学習が目指すべきものを「［・・・］という本市の生涯学習が目指すべき」のような形で記述すべき。次に、（イ）には「何を」周知するのかを記述すべき。	「ア　計画の進行管理に係る課題」では、第５次千葉市生涯学習推進計画の進行管理に係る課題として（ア）、（イ）を挙げ、それに対応する形で課題解消の留意・検討内容をそれぞれ（ア）、（イ）で記載したところですが、ご意見を受け、留意・検討内容（ア）を「本市の生涯学習が目指すべきものを見据えた成果指標を設定し、その実現のための計画とします。」に、（イ）を「現場の施設や利用団体、利用者、地域への生涯学習の理念の周知に力を入れます。」に修正いたします。	○
9	P133	総論 ４　第６次千葉市生涯学習推進計画策定について ２　第６次千葉市生涯学習推進計画のあらたな視点 （４）	「公民館が身近な地域活動拠点としての機能をより一層発揮するため、社会教育主事有資格者の更なる活用や社会教育士との連携の強化を図ることにより、各地域における課題の解決に向けた講座の拡充を通して、その成果が地域に還元され、循環させるサイクルの構築を進め、公民館の機能強化を図ります。」 ・・・・・これは大切だと考える。	公民館で学習した成果が各地域の課題解決に還元される循環サイクル構築は重要なことと考えておりますので、引き続き取組を推進してまいります。	－
10	P133	総論 ４　第６次千葉市生涯学習推進計画策定について ３　第６次千葉市生涯学習推進計画策定において留意すべき事項 （４）	「公民館などの社会教育施設で、子どもや若者が地域の課題解決に主体的にかかわることは、主権者意識の涵養にも資するものであり、よりよい社会を創っていく資質・能力を育むうえで重要です。」 ・・・・・大賛成。	子どもや若者の地域・社会への主体的な参画と多世代交流は重要なことと考えておりますので、引き続き取組を推進してまいります。	－
11	P133	総論 ４　第６次千葉市生涯学習推進計画策定について ３　第６次千葉市生涯学習推進計画策定において留意すべき事項 （５）	「（５）の共生できる環境をつくる」も賛成	多様な方々が共に学びあうことで、他者を理解し受け入れ共生できることは重要なことと考えておりますので、引き続き取組を推進してまいります。	－
12	P134	総論 ５　第６次千葉市生涯学習推進計画の全体像	第６次千葉市生涯学習推進計画の全体像に■計画目標■がある。先ず、全体像に理念が記載されていない。理念は忘れられてしまう。次に理念と目標、目標と目指すべき姿の関連性の分かりやすい表記である必要がある。	生涯学習の理念のもとに第６次千葉市生涯学習推進計画を策定しますが、ご意見のとおり関係性をわかりやすくするため「～一人ひとりが　学びを通して成長し　みんなが輝くまち　千葉市～」が目指すべき姿であることを明記し、記載順を整理いたします。	○
13	P136	総論 ５　第６次千葉市生涯学習推進計画の全体像	先ず、模式図は必要なのか。 次に、方向性１から方向性２へ、方向性２から方向性３へ、方向性３から方向性２へと番号が付けられている。「学び」と「活動」の循環サイクルと名付けられているが、施策展開の方向性の説明文には触れられていない。さらに、サイクルの２周目からは方向性２と方向性３の行き来だけとなっていて、サイクルとは言えない。方向性１の「学習活動のきっかけ」を初回だけでなく新たな分野での学習活動のきっかけとするなど広義で捉えて方向性３から方向性１に戻るようにするのが適切と思う。	模式図については、生涯学習の理念の浸透が課題であると考えている中で、第６次千葉市生涯学習推進計画の主旨や「学び」と「活動」の循環サイクルをわかりやすく表現・説明するために必要と考えております。	－
14	P138	各論 各論の見方	囲みで「アクションプランにおける各年度の数値は目標数値であり、今後の社会情勢等の状況により変更することもあり、確定したものではありません」と記載されている。この文章を計画書に記載してしまうと、計画書の目標値の信頼性がなくなる。当然、中間目標令和９年度の数値も確定していないわけなので、アクションプランそのものも怪しいものとなる。「今後の社会情勢に大きな変化があった場合、年度途中であってもアクションプラン、目標値を変更し、公表いたします」程度としていただきたい。	囲みの記載については、今後の社会情勢の変化等により目標どおりに事業を実施できない可能性があることを表記したものであるため、原文のままといたします。	－

No.	ページ	項目名	意見の概要	意見に対する市の考え方	計画案への反映
15	P155	各論 ２　多様な学習機会の充実 基本施策２－２　市民ニーズに対応した学習機会の提供 Ｎｏ．９　学習相談の充実	学習相談の充実【継続】となっているが、期待したい。	引き続き取組を推進してまいります。	－
16	P157	各論 ２　多様な学習機会の充実 基本施策２－３　現代的課題に対応する学習機会の提供 Ｎｏ．２　子ども達の放課後対策	子どもたちの放課後対策を拡充してほしい。	引き続き取組を推進してまいります。	－
17	P172 ～ P175	参考資料 ２　用語解説	用語の末尾に掲載ページ数を示すという形になっている。用語を見てからページ数を探すという人はいないと思う。本文の用語の右肩に＊などの記号を付けて用語解説を参照してもらう方式の方がよいと思う。	ご意見のとおり修正いたします。	○
18	－	各論の全般にかかるもの	公民館文化祭、図書館の企画展示、講演会、お話し会などは、市民が楽しみ期待しているところ。さらなる充実を望む。司書、社会教育指導主事など専門職がまだまだ足りていない。（正規職員化も課題なのでは？） 特にレファレンスサービスは大事で専門職でなければ十分応えられない。	いただいたご意見については、引き続き事業検討における参考とさせていただきます。	－
19	－	各論の全般にかかるもの	調べものなど現在はスマートフォンなどで直ぐに答えは出るが、例えば百科事典を引いたり、辞書を見ることにより、より深く広く知ることが出来る。 紙媒体、読書に子どもたちをいざなうために図書館、公民館図書室の充実を望む。 予算をつけてほしい。公民館図書室は、中学生くらいまでのレファレンスに応え得るものと考えるので古い資料（例：10年以上前の百科事典、地図、地球の歩き方などは役に立たない）は廃棄して新しい資料を入れることが出来るように、予算を付けてほしい。	いただいたご意見については、引き続き事業検討における参考とさせていただきます。	－